令和３年度　入学生用　〔　情　報　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
情報	社会と情報	2	必修科目	1年	
使用教科書	実教出版　高校　社会と情報　新訂版			担当者	

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	授業では主にパソコンを使用し、活用能力を養う。 教科書の内容を中心に、身近な内容・最新の情報を取り入れる。
学習評価	以上の観点をふまえ、 「育成を目指す資質・能力」の8つの観点で学習の状況を総合的に評価します。 定期考査の成績、課題やレポート、小テスト等への取り組み状況、授業への参加態度などから総合的に評価します。
担当者から	提出物は必ず期限までに提出しましょう。 パソコン室への異動は、チャイムが鳴る前に移動し、パソコンを起動させ席に着いていること。遅刻の場合は必ず理由をつたえましょう。 パソコンの設定を勝手に変更してはいけません。またいかなる場合でもパソコン室での飲食は認めません。

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基盤的学力	文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。
2	問題発見・解決能力	問いを立て、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	主体的判断能力	物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。
5	協働力	他者を尊重し、協働することができる。
6	自律力	規範意識をもって自律的に行動することができる。
7	実践力	自ら考えて行動し実践することができる。
8	自己認識力	自分の思考を客観的に捉えることができる。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価基準	評価方法
4		情報社会	情報と情報社会	○		○	○					情報社会に興味関心を持ち積極的に取り組もうとしているか。	実習・観察
4			社会の変化と個人の責任	○			○				○	社会のシステムがどの様に変貌するのかを創造的に思考できるか。	レポート
4			情報社会の問題	○			○			○		ディジタル化による影響を的確に捉えているか。	定期考査
4			個人情報とその保護	○			○			○		情報に適したメディアを選択できるか。	
5			メディアとその特徴	○		○						個人情報を適切に保護するための方法を理解しようとしているか。	
5			メディアリテラシー	○			○			○		情報化の光と影の部分について理解できるか。	
5		コミュニケーション	コミュニケーション	○		○			○			情報の新しい解釈やよりよい表現を求める意欲がみられるか。	実習・観察
5			電子メールの利用	○						○	○	Webや電子メールの仕組みについて理解し、使い分けの判断が出来るか。	レポート
6			ネットワーク	○	○			○				工夫して複雑な検索が行えるか。	定期考査
6			共通の取り決め	○				○				コンピュータやインターネットの仕組みが理解できるか。	
6			インターネットの仕組み	○		○		○					
6			Webページの閲覧とメールの仕組み	○		○				○			
6			インターネットを利用したサービス	○		○				○			
6		情報安全	個人による安全対策	○						○	○	ウイルス対策などの情報セキュリティに対して、関心を持っているか。	実習・観察
7			組織による安全対策	○						○	○	パスワードの重要性について関心を持っているか。	レポート
7			安全のための情報技術	○		○						パスワードの重要性やコンピュータウイルス、著作権についてまとめられるか。	定期考査
7			暗号化	○	○		○					適切なパスワードを設定できるか。	
8			法規による安全対策	○	○							著作権・産業財産権における権利を理解できるか。	
8			知的財産権の概要と産業財産権	○	○								
9			著作権	○				○					
9			著作物の利用	○				○			○		
9		ディジタル化	ディジタル情報の特徴	○		○		○				ソフトウェアを意欲的に使い、実習しようとしているか。	実習・観察
9			静止画像の扱い	○		○					○	ワープロソフトを使い創作的に表現しようとしているか。	レポート
10			数値や文字の表し方	○		○						さまざまなソフトウェアを適切に操作できるか。	定期考査
10			音のディジタル化	○		○						2進数の計算はできるか。	
10			色のディジタル表現	○		○						アナログとディジタルの概念を理解しているか。	
10			画像のディジタル化	○		○						2進数・10進数の相互変換の計算が理解できるか。	
11			圧縮の種類	○		○							
11			圧縮の仕組み	○		○							
11			さまざまな計算	○	○	○							
12		問題解決	問題を解決するには	○	○					○		計画や情報収集を積極的にしているか。	実習・観察
12			情報の収集	○		○						問題解決の手順を理解して表現しているか。	レポート
12			情報の整理と管理	○		○						表計算ソフトの関数を適切に使うことができるか。	定期考査
1			分析のための工夫	○	○	○						適切なグラフを選択できるか。	
1			関数と統計	○			○					問題解決の手順と解決するための工夫を理解できるか。	
2			表とグラフの活用	○			○					表計算の関数を理解できるか。	
2			問題解決の実践	○		○				○		表計算の絶対参照や相対参照を理解できるか。	
3			プレゼンテーションの方法	○	○					○			
3			Webページによる情報発信	○	○						○		